

野崎会長より新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

平成26年新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、今年は初日の出を拝まれた方が多かったのではないのでしょうか。それにもまして、アベノミクス効果、東京オリンピック開催等による景気回復の明るい兆しも感じられたのではないのでしょうか。その上、補正予算を含めた15か月予算や東北復興に続く国土強靱化、インフラ整備、リニア新幹線着工等、継続的な公共工事の発注も期待できる年始めとなったのではないのでしょうか。

一方、技能者不足による労務単価の高騰や資機材の高騰による採算性の圧迫、その上、人材の確保・育成及び技能継承問題等、建設業の将来にとって大きな問題を抱えております。これらの解決のため設計労務単価のアップや社会保険未加入対策等がなされておりますが、若者をトンネル専門工事業に引き寄せるには、それらだけでは不十分で、キャリアパスの明示や処遇改善を含めた働く環境の整備が必要であると考えます。魅力のある・働きがいのある業種としなければなりません。

このためには、まず第一に我々会員会社が適正な利益を獲得し、足腰を強くすることが不可欠です。トンネル専門協は他にない「異業種間の協会」で、強力な潜在パワーを持っております。この力を目一杯引き出し、更にもっと上に会員各社が改革・改善に努められ、一層の生産性向上・効率化を図ることが肝要だと考えます。お互い競合するだけでなく、補完機能を大いに活用し合い、この難局を突破し、適正な利益を獲得し、魅力ある業種に変身致しましょう。

どんな難しいトンネルも精一杯努力すれば必ず貫通でき、その先に明るい光が見られるはずです。今年は、皆でスクラムをガッチリ組み、互いに知恵を出し合い、今年を「挑戦そして躍進の年」としましょう。

最後に、会員会社の益々のご発展を祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

新名神高速道路 箕面トンネル東工事で現場見学・研修会

平成25年10月25～26日に、台風26号の接近で危ぶまれたなか、大阪府茨木市の新名神高速道路箕面トンネル東工事で44名参加し開催されました。

1. 工事概要

工事名: 新名神高速道路 箕面トンネル東工事
トンネル延長: 上り2,081m 下り2,087m
発注者: 西日本高速道路株式会社
元請: 大成建設(株) 施工: 吉岡建設(株)



箕面トンネルは全長約5000mで2工区に分かれており、今回の見学・研修現場はその東側工区です。特長は坑口部約300mが箕面断層帯の不良地山で機械掘削を行い、その後は発破掘削を行っています。掘削ズリ出しはベルトコンベアで行われています。

また、勝尾寺川周辺で土被りが小さく、高透水性の断層が密集していることから、周辺の水環境を保全する目的でウォータータイト構造が採用されています。大量湧水の可能性があるため、切羽前方の水理地質情報を得るために穿孔方向を制御しながら高速で1000m程度を穿孔できる超長尺先進ボーリングを採用しています。

2. 現場見学・研修

大成建設(株)の三隅宏明所長より工事概要や施工のポイントや安全対策等の説明を受け、その後、上り線、下り線の坑内を見学しました。

三隅所長の現場運営方針は、「安全はきれいで挨拶のある現場から」と「切羽で新聞が読め、革靴で入れるトンネル」だそうで、坑内路盤は良く整備され革靴で見学させて頂きました。また、坑内資材置場も工夫されており、非常にきれいで、切羽も明るい現場でした。吹付コンクリート面もH鋼表面に合わされており施工管理が良くなされておりました。

安全面では、「安全の見える化」に努めておられ、坑外でのクレーン作業では、風速が10m/secを越えたら5分間赤色パトライトが点灯し、作業中止としているとのことでした。

昨年の猛暑の夏における熱中症対策としては、現場事務所屋根へのスプリンクラーの設置や冷水(スポーツドリンク)やアイスキャディーを自由に食べられるコーナーを設置されたそうです。換気設備は、送気吸引捕集方式を採用し、粉じん対策にも気を配られておりました。このように三隅所長の元、元請、専門工事業者が一体となり、いたる所に創意工夫がなされた現場でした。



《三隅宏明所長》

野崎会長より「長大トンネルを2本同時に施工している現場で、約600m×2本のウォータータイト区間があるなど、今話題になっているトンネル現場です。また、革靴で坑内を見学するのは初めてで、本当に手本になる現場だと思います」との挨拶がありました。

3. 研修会



宿泊所会議室にて吉岡建設(株)温水一彦所長より工事説明があり、その後施工法、歩掛り等について質疑応答や意見交換が行われました。当現場は上り線、下り線を同時に施工しており、作業員の配置工夫やベルトコンベヤの延伸方法、クラッシャーの設置位置、湧水対策、吹付コンクリート施工法等、多岐にわたる質疑応答が活発に行われ有意義な研修となりました。



トンネル施工機械現場管理要員研修会

平成25年10月5日～6日、三重県鈴鹿市の新名神高速道路野登トンネル東工事において平成25年度トンネル施工機械現場管理要員研修が開催されました。受講者は施工系会員13名機械系会員4名の17名でした。



研修1日目は宿泊所会議室にてトンネル主要施工機械である自由断面掘削機、コンクリート吹付機、サイドダンプ式ホイールローダ、油圧ドリルジャンボについてパワーポイントを利用した座学研修が行われました。研修後、予めアンケートしていた各機種の問題事項を中心に受講者と施工系、機械系会員講師とのディスカッションを行いました。ディスカッションでは、機械管理担当者の日頃の悩みや疑問点等が話し合われました。

研修2日目は、研修場所を野登トンネル東工事(元請 株大林組、施工吉田直土木(株))に移し、吉田直土木(株)河村英樹所長より工事概要の説明を受け、トンネルを見学の後、機械を前にして座学で学んだ点検箇所、グリスアップ箇所等留意点について説明が行われました。

実機を前にした研修では、コンクリート吹付機、サイドダンプ式ホイールローダ、油圧ドリルジャンボ、油圧大型ブレーカ、ツインヘッダーについて機械系会員講師による説明が行われました。



日建連平成25年度粉じん障害防止対策推進月間活動パトロール

平成25年10月15日、日建連安全対策本部(竹中康一本部長)主催による粉じんパトロールが大阪府箕面市内の2箇所のトンネル現場にて行われ、トンネル専門協は野崎正和会長、小方康孝専務理事、吉岡隆一常務理事が参加しました。当協会が参加するのは3回目となります。

《パトロール現場》

工事名：新名神高速道路箕面トンネル西工事
発注者：西日本高速道路株式会社 元請：鹿島建設(株)
工事概要：トンネル延長(工区延長)約2900m×2(上り、下り線)
粉じん対策：コンクリート吹付に液体の急結剤を使用する低粉じん工法を採用し、粉じん濃度を従来の1/3程度に減らしているとのことでした。



《パトロール現場2》

工事名：UR彩都トンネル工事
発注者：都市再生機構 元請：鴻池組 施工：(株)金子組
粉じん対策：UR彩都トンネルでは自主的にミストを導入し、吹付コンクリートには粉じん抑制剤や集塵機を使用して3mg/m³以下としているそうです。



【パトロール結果】 2工事共に指摘事項はありませんでしたが、電動ファンマスクの装着方法や、マスクの内側の手入れ等について留意するようとの指導がされました。

平成25年度優秀施工者国土交通大臣顕彰及び安全優良職長厚生労働大臣顕彰

優秀施工者は、建設業の第一線にあって業務に精励し、常に技術・技能の向上に努め、他の模範となる者であり、安全優良職長は、一定の技能と経験を有し、担当する現場又は部署が優良な安全成績をあげた労働者を直接指揮する職長、班長等を担当大臣が顕彰するものです。

トンネル専門協は2名の優秀施工者候補者と1名の安全優良職長候補者を推薦し、推薦者全員の受賞が決定し、優秀施工者は平成25年10月17日メルパルクホール(東京港区)、安全優良職長は平成26年1月10日中央合同庁舎5号館(東京千代田区)での顕彰式典にて受賞されました。受賞者の皆様大変おめでとうございます。(敬称略)

- ・優秀施工者受賞 : 表野 明 (北新建設株)、加藤千代美 (吉田直土木株)
- ・安全優良職長受賞 : 渡邊 宏 (西行建設株)



《加藤千代美氏 表野 明氏》



《渡邊 宏氏》

登録トンネル基幹技能者講習



平成25年11月7日～10日に東日本会場(千葉県佐倉市)にて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。今回より土日も講習日に含めたことから21名の受講がありました。受講者は11月13日に行われた基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、全員の修了が承認されました。

| 修了証番号 | 所属組織名 | 氏名 |
|----------------|-------------|--------|
| 第061311-00435号 | 浦口滝澤建設株 | 下山 尊之 |
| 第061311-00436号 | 浦口滝澤建設株 | 中舘 宏康 |
| 第061311-00437号 | 川元建設株 | 武田 肇 |
| 第061311-00438号 | 木部建設株 | 嶋 宏大 |
| 第061311-00439号 | 木部建設株 | 佐々木 真也 |
| 第061311-00440号 | 神坂川コーポレーション | 一戸 孝幸 |
| 第061311-00441号 | 佐々木建設株 | 寺西 良介 |
| 第061311-00442号 | 成豊建設株 | 野口 壮 |
| 第061311-00443号 | 成豊建設株 | 高橋 良二 |
| 第061311-00444号 | 藤友工業株 | 笠井 龍二 |
| 第061311-00445号 | 藤友工業株 | 高関 一男 |

| 修了証番号 | 所属組織名 | 氏名 |
|----------------|-------|-------|
| 第061311-00446号 | 藤友工業株 | 堀内 達善 |
| 第061311-00447号 | 藤友工業株 | 森本 隆治 |
| 第061311-00448号 | 北新建設株 | 石田 哲也 |
| 第061311-00449号 | 北新建設株 | 大関 雅史 |
| 第061311-00450号 | 北新建設株 | 橋場 靖憲 |
| 第061311-00451号 | 山崎建設株 | 今岡 政貞 |
| 第061311-00452号 | 山崎建設株 | 亀田 佳也 |
| 第061311-00453号 | 山崎建設株 | 柳迫 将秀 |
| 第061311-00454号 | 山崎建設株 | 林 芳男 |
| 第061311-00455号 | 山崎建設株 | 吉元 洋 |

また、11月11日に開催された更新講習で1名の方が修了証の更新をされました。

協会からのお知らせ

《社会保険加入に関する認証制度の試行について》

本制度の試行内容は、会員企業の皆様が、自社が社会保険等に参加し、適切に保険料を支払っている旨を、当協会に申請し「社会保険加入に関する適格企業または優良企業」の認証を受けるものです。

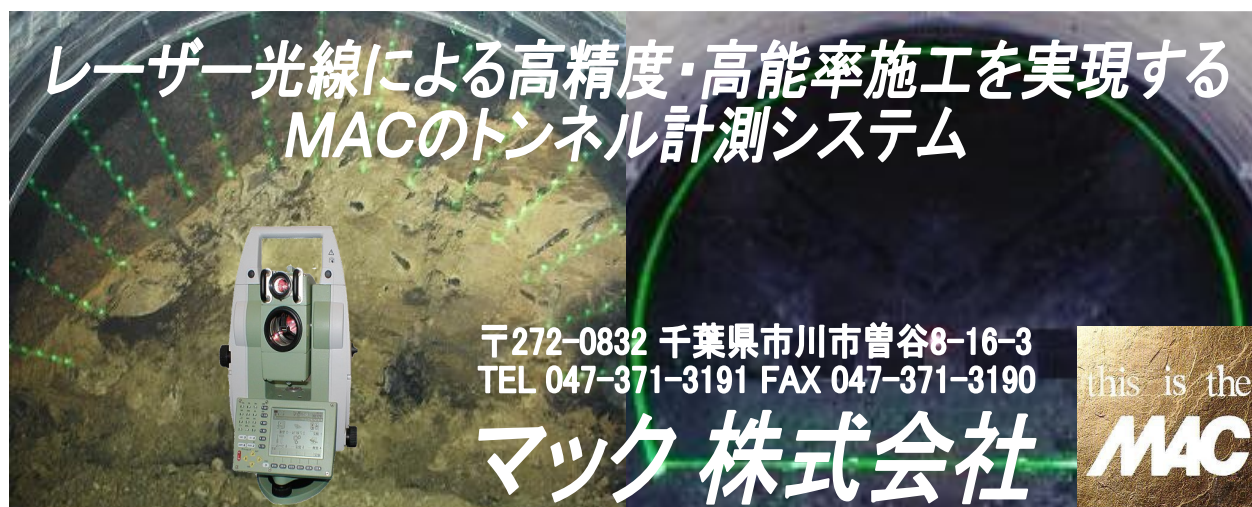
この制度は、社会保険に適切に参加している適用企業を「適格企業」に認証し、加えて建設業退職金共済制度または中小企業退職金共済制度に参加している企業を「優良企業」として認証する制度です。会員23社より優良企業の申請があり、審査の結果、全社認証の予定です。

なお、認証を受けた企業に対するインセンティブと致しまして、将来的には、制度内容をさらにブラッシュアップした上で、国土交通省で目下検討中の専門工事業評価制度等に組み込まれる可能性があります。

《第8回海外視察研修会について》

平成26年2月18日(火)～22日(土)に、環境保全、安全管理に極めて厳しいシンガポールでの地下鉄駅舎及びシールド他工事を対象とした現場視察研修が行われます。

レーザー光線による高精度・高能率施工を実現する
MACのトンネル計測システム



〒272-0832 千葉県市川市曾谷8-16-3
TEL 047-371-3191 FAX 047-371-3190

マック株式会社 this is the **MAC**



大栄工機株式会社

代表取締役 古磯 信幸

営業品目

- ・二次覆工用型枠、作業台車、移動栈橋
- ・型枠用各種 OP 装置、表面処理
- ・二次覆工コンクリート養生 (EPS, トネルミスト)

<http://www.daieikouki.co.jp>

本 社

〒526-0842 滋賀県長浜市春近町 90
TEL 0749-64-0246 FAX 0749-63-6765
E-mail: daiei-co@minos.ocn.ne.jp

盛岡営業所

〒020-0137 岩手県盛岡市天昌寺町 8-27
TEL 019-656-6725 FAX 019-656-6726

レール工法 (シールド・ナトム) のトータルコーディネーター!

機械の販売・レンタル・設計・製作は我が社に



ボスボラス海峡横断鉄道工事

〒171-0022

東京都豊島区南池袋 3-13-15 東伸ビル 7 階

ケンサンリース株式会社

L.kensan@oregano.ocn.ne.jp

TEL 03(5396)9331

FAX 03(5396)9333

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors

日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL: <http://www.tunnel.jp>